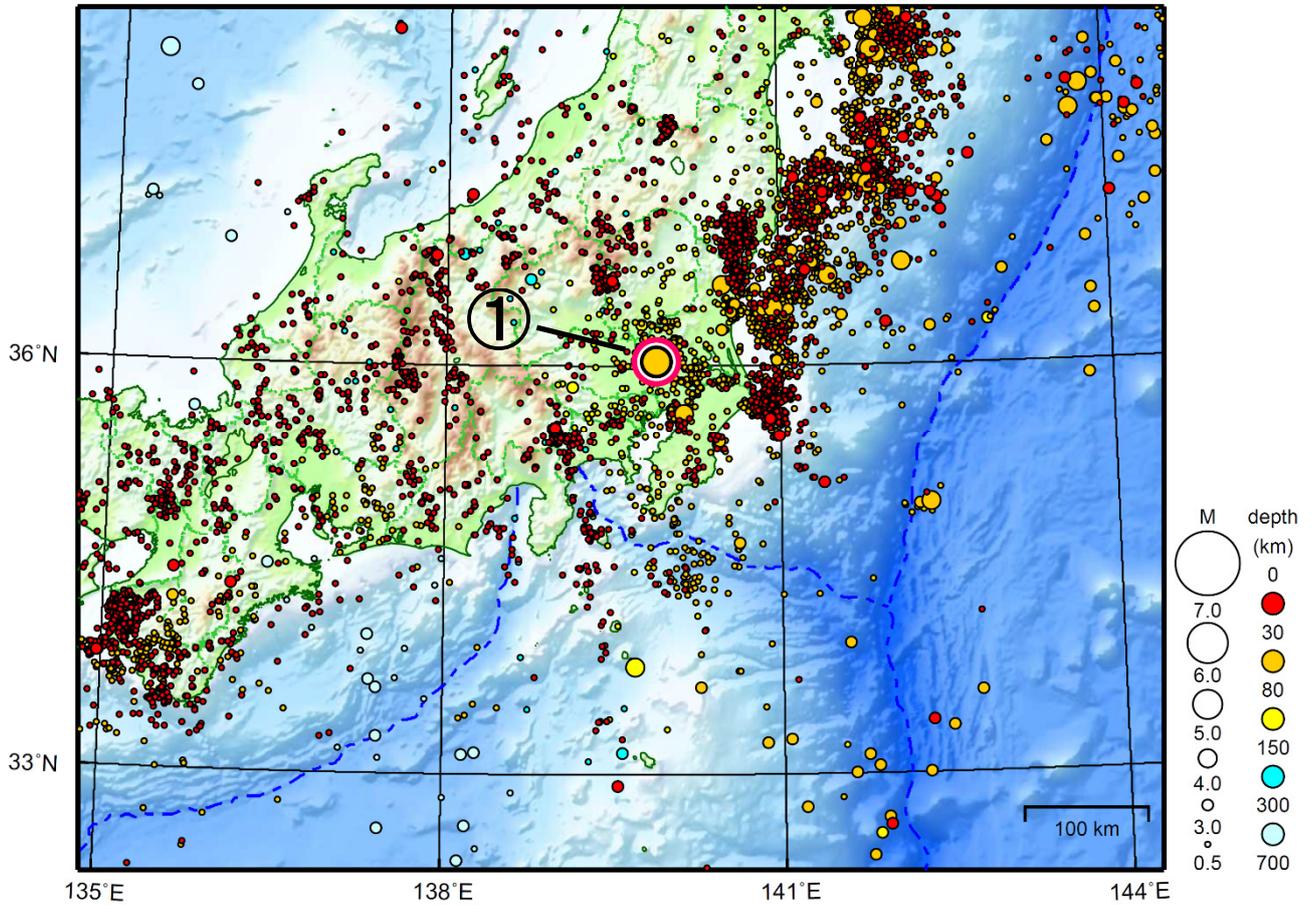


関東・中部地方

2016/05/01 00:00 ~ 2016/05/31 24:00

N=6770

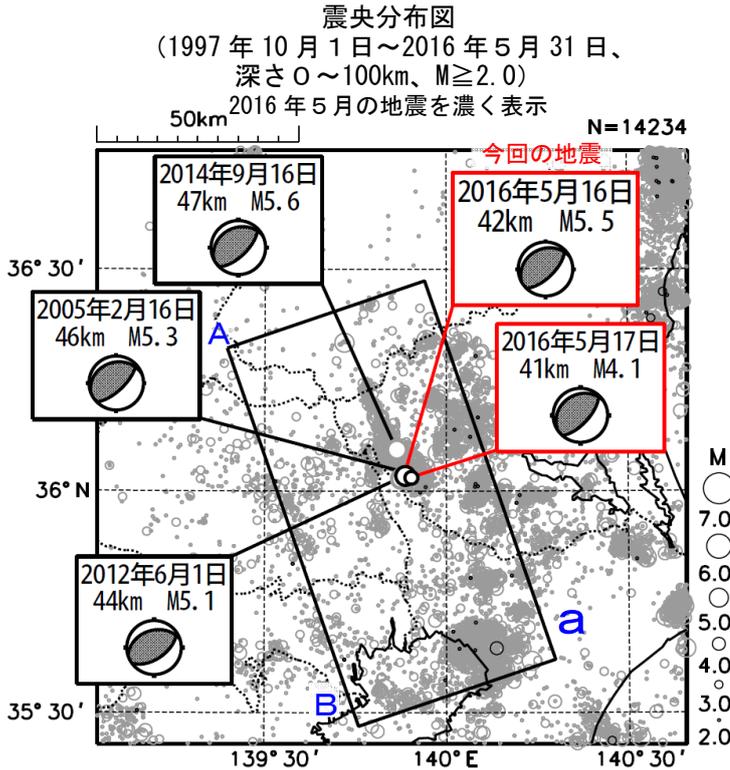


地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 5月16日に茨城県南部でM5.5の地震（最大震度5弱）が発生した。

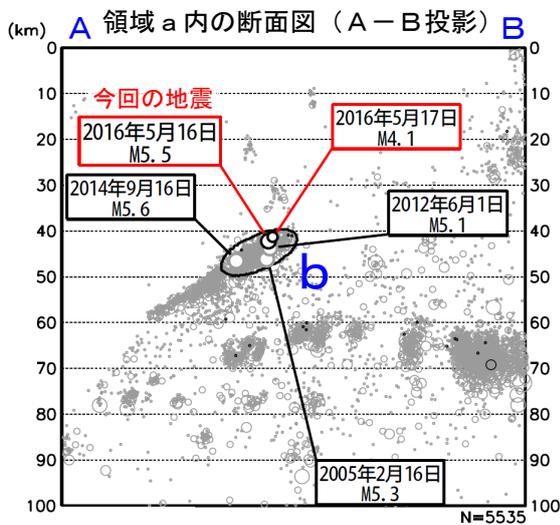
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

5月16日 茨城県南部の地震

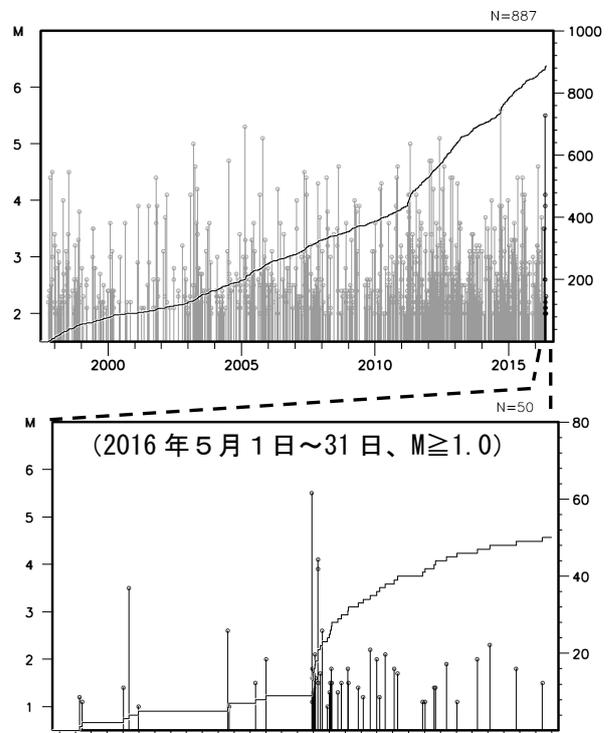


2016年5月16日21時23分に茨城県南部の深さ42kmでM5.5の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は主に震源の東側で強い揺れが観測された。この地震は発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、茨城県で負傷者1人の被害が生じた(総務省消防庁による)。また、今回の地震の発生後、17日06時55分と06時57分にそれぞれM3.9とM4.1の地震(いずれも最大震度3)が発生するなど、一時的に地震活動が活発となった。

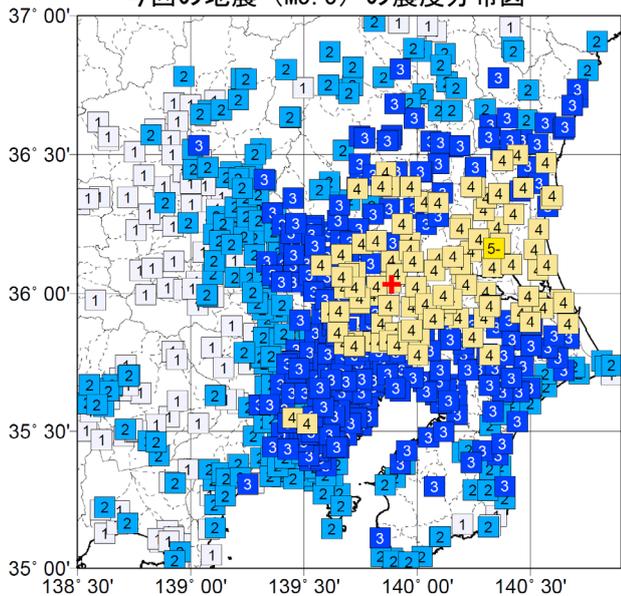
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、活動が活発な領域で、M5程度の地震がしばしば発生している。このうち、2005年2月16日に今回の地震とほぼ同じ場所で発生したM5.3の地震(最大震度5弱)では、今回の地震と同様に、主に震源の東側で強い揺れが観測された。一方で、2014年9月16日に発生したM5.6の地震(最大震度5弱)、及び2012年6月1日に発生したM5.1の地震(最大震度4)では、強い揺れが観測されたのは主に震源の西側から北西側で、今回の地震とは異なっている。



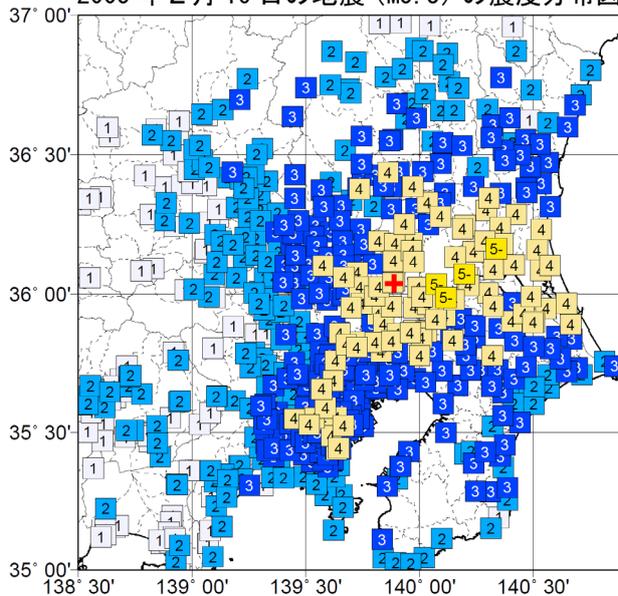
領域b内のM-T図及び回数積算図



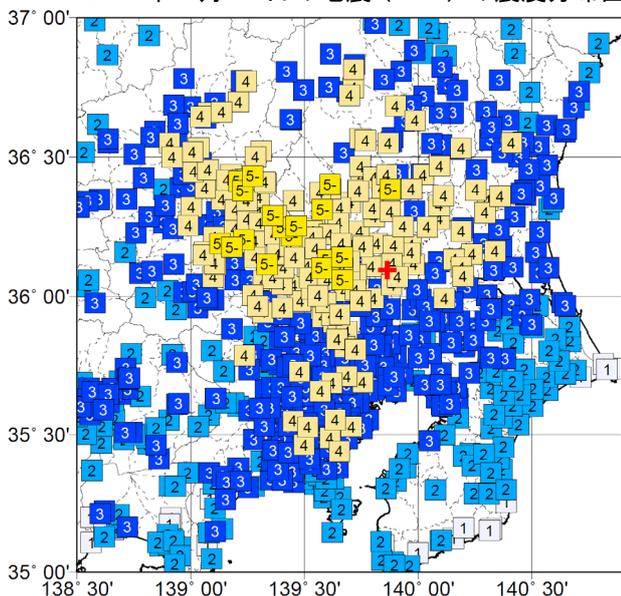
今回の地震 (M5.5) の震度分布図



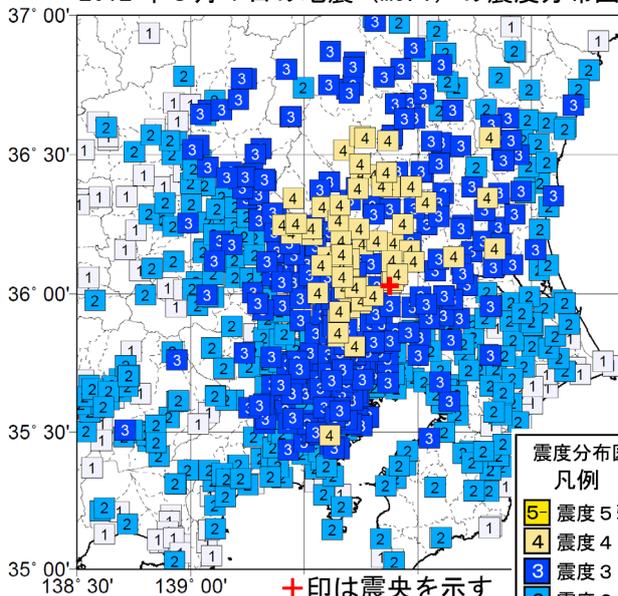
2005年2月16日の地震 (M5.3) の震度分布図



2014年9月16日の地震 (M5.6) の震度分布図



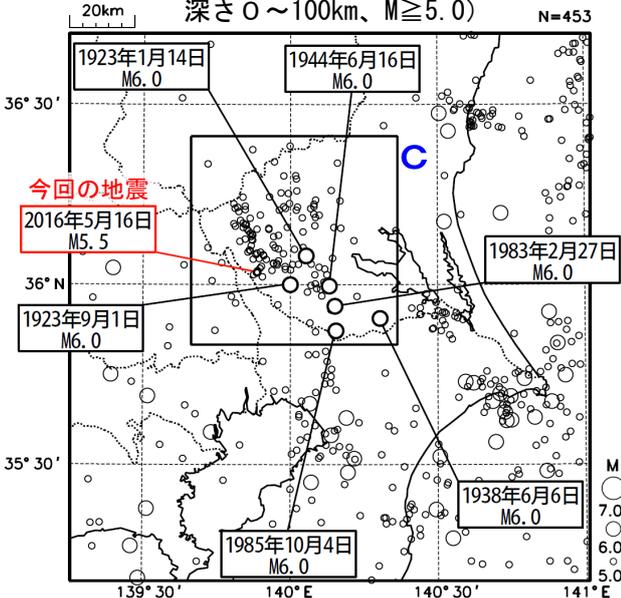
2012年6月1日の地震 (M5.1) の震度分布図



震度分布図
凡例
5 震度5弱
4 震度4
3 震度3
2 震度2
1 震度1
+印は震央を示す

震央分布図

(1923年1月1日~2016年5月31日、
深さ0~100km、M \geq 5.0) N=453



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6程度の地震が時々発生している。

領域c内のM-T図

